

岩手県におけるブルーベリー品種の特性

【概要】

耐寒性や大粒性などが期待されるブルーベリー品種について、岩手県における特性調査試験を行いました。

1　国内外で育成されたブルーベリー6品種の開花期や果実品質、樹体生育、収量などの特性を明らかにし、以下のとおり特性一覧として取りまとめました。各品種の特性を踏まえたうえで、生産者の経営規模や販売方法に応じた品種を選択してください。

供試品種の特性一覧

品種名	収穫時期	収量性	大粒	良食味	収穫期間	備考
コリンズ	7月 第2半旬		○		短	隔年結果性が見られる。凍害の発生が多い。
あまつぶ星	7月 第4半旬	○	○		短	糖酸比高く、甘味が強い。凍害の発生がやや見られる。
ブルークロップ	7月 第4半旬	○				果肉が硬い。樹体生育は小さいが樹容積あたりの収量が多く、収量性が優れる。
バークレイ	7月 第4半旬	○			短	果肉軟らかくなりやすい。収穫が遅れると落果が見られる。
ジャージー	7月 第5半旬					花芽の着生多いが、小粒のため収穫に労力がかかる。
チャンドラー	7月 第6半旬	○	○			超大粒で多収。樹勢強く、隔年結果性がやや見られる。

注1 収穫時期は、累積収量が全体の50%を超えた時期。

注2 収量性は、樹容積あたり収量が1,000g以上とした。なお、成木期は7年生以降とした。

注3 大粒は、1果重2g以上、選果割合2Lが25%以上とした。

注4 良食味は、糖酸比14～23を基準とした。

注5 収穫期間は、25日間以内のものを短い、30日以上のものを長いとした。

【試験データ等】

表1 供試品種の生態、果実品質、樹体生育、収穫期及び収量

定植年	満開期 (月/日)	収穫盛期 (月/日)	果実の大きさ		糖度 (Brix)	酸度 (g/100ml)	樹容積 (m ³)	収量 (g/樹)	樹容積あ たり収量 (g/m ³)	耐寒性
			1果重 (g)	2L以上の 割合(%)						
コリンズ	H20	5/8	7/9	1.7	11.6	13.6	0.80	2.66	1,454	547 弱
あまつぶ星	H20	5/13	7/17	2.6	31.6	11.8	0.68	1.82	1,659	912 中
ブルークロップ	H19	5/14	7/18	1.9	12.8	11.6	0.91	1.34	1,827	1,362 強
バークレイ	H20	5/14	7/20	2.2	20.4	12.4	1.05	1.26	1,666	1,318 中
ジャージー	H20	5/17	7/25	1.2	0.6	13.1	1.00	3.28	1,144	349 強
チャンドラー	H19	5/15	7/29	3.9	77.2	10.9	1.04	3.36	3,623	1,079 強

注1 満開期のデータは、H25～R5の平均値。注2 果実品質は、H25～R5の収穫盛期における調査データの平均値(H29、R1を除く)。

注3 選果規格は、2L(横径18～20mm)。注4 酸度は、クエン酸換算。

注5 樹容積は、7～17年生樹のデータの平均値。樹容積は、(樹幅/2)×π×樹高で計算。

注6 収穫期は、H25～R5の平均値(H29、R1を除く)。

注7 収量は7～17年生樹のデータの平均値(ブルークロップ、チャンドラーは12、14年生樹のデータを除く。コリンズ、あまつぶ星、バークレイ、ジャージーは11、13年生樹のデータを除く)。

注8 耐寒性は、R2～R6の凍害(低温による枝の枯死)発生程度に応じ、弱、中、強で判定。

【令和6年度成果】岩手県におけるブルーベリー品種の特性 (R6-指-10)